

北海道新聞

2020年

10月22日

木曜日

発行所
北海道新聞社

〒060-8711
札幌市中央区大通西3-6
電話 011-221-2111
www.hokkaido-np.co.jp

える協議会（道主催）第4回会合で示された。

RAはドーナツ形の環状道路を車両が時計回りに進み、左折して交差点を抜ける構造。信頼待ちがなく車両がスムーズに進むなどの利点がある。

整備される場所は市道大曲檜山線と交わる丁字路。RAの整備は檜山管内上ノ国町、宗谷管内浜頓別町に次ぎ道内3カ所目。道はまた、道路へのシカ侵入を防ぐため、橋部分を除く道路の南側に高さ2・5㍍の侵入防護柵を設け、橋の下にシカを誘導する。

道路は11月にも着工し、新規開業の2023年3月開通を目指す。工事が行われた場所の植生の復元や動物の生息状況などの調査は、25年ごろまで続ける予定。

アクセス道路はBPと市道大曲櫛山線を結ぶ約2・8㌔。3ヶ月に道道に認定された。

（阿部里子）

札幌の企業など開発 車侵入防ぐ柵

五輪で採用狙い実証実験

【美唄】道路工事現場や

イベント会場などへの暴走車の突入を防ぐ柵の開発を進める道内外の産学官のグループが21日、試作中の柵に車を衝突させる実証実験を美唄市内で行い、報道陣に公開した。グループは来



試作品の柵に、高速走行する車を衝突させた実証実験（阿部裕貴撮影）

年、札幌で行われる東京五輪のマラソン会場などでの活用を目指しており、来春の製品化に向けて今後、改良を急ぐ。

開発を進めるのは警備用品製造販売のトライ・ユー（札幌）、ゴム製品製造の白石ゴム製作所（同）、道立総合研究機構、山梨大のグループ。柵は鉄製で車の侵入を止めたい場所に設置するもので、突入してきた車が柵の下部にあるゴム板

に乗り上げると、摩擦で前に進めなくなる仕組み。昨年に初代モデルを完成させた後、軽量化や強度の見直しなどに着手した。

21日に公開された実験では、重さを初代モデルの6割の約70㌔にした試作品を使い、高速で走る車を衝突させた。トライ・ユーの上杉章社長（41）は「軽量化で持ち運びも楽になる。マラソン会場の他、高速道路の工事現場などさまざまなところで使用できるようにしたい」と話した。（野呂有里）

電子版に
動画



北海道の魅力 40人語り合う

首都圏在住者ら勉強会

北海道に魅せられた首都圏在住者らでつくる「なまらいいんでない会」（嘉柄秀明代表理事）の勉強会「な

てオンラインで行われ、道内と東京をインターネットでつなぎ北海道の魅力を語り合った。

東京・浅草に6月開設したアンテナショップ「なまらもん」と参加者たちをネットでつないで開催。札幌